令和元年６月２８日

厳木中学校学校便り　No4

厳木中教育目標
「主体的、協働的に取り組む生徒の育成」

文責：校長　藤田裕之

１　厳木町教育フェスティバル

６月９日(日)の唐津市教育の日では、１校時目は「ふれあい道徳」の時間として、全学年、担任による道徳の授業を公開し、保護者、地域の皆様に心の教育への取り組みを参観していただきました。

※２年生ではソーシャルスキルについて考えました

また、２校時からは、キャリア教育の一環として、１年生は「先輩に学ぶ」２・３年生は「高校説明会」を行いました。１年生では、厳木高校、多久高校、小城高校、牛津高校、佐賀西高校、佐賀工業高校に進学した先輩に来ていただき、高校の様子や進学理由などについて話を聞きました。

生徒の感想では、「中学校で勉強と生活面はできないと高校で後悔することになるので、中学校でしっかり身につけていきたい」「１年生の頃から基本的な礼儀などを身につけておくことが大切だと言われていたので、礼儀を身につけていきたいです」など、当たり前のことをしっかりできるようにしようという感想が多く見られました。

※佐賀西高校に進学した先輩から話を聞いています

２・３年生では、厳木高校、唐津商業、佐賀商業、佐賀工業、小城高校、多久高校の先生に来ていただき各学校の説明を行っていただきました。

３年生は、夏休みに体験入学・三者面談ももありますので、自分の将来をしっかり考え家庭でもよく話し合われて高校選択をしてほしいと思います。

午後は、おはなしランドのボランティアによる読み聞かせとフリーアナウンサーの副田ひろみさんを講師として、「命をぎゅっと抱きしめて」という演題で、読み語りとお話を聞かせていただき充実した１日となりました。

２　素晴らしかった生徒総会

６月２７日（木）は生徒総会が行われました。総会冊子に「【自分たちの学校を楽しく、かつ意義あるもの】にするため、【自分たちで考え・自分たちで決め、自分たちで行動する】ことが求められ、そのために生徒全員で話し合い、決定していく『場』が『生徒総会』です。」と最初に書かれていることが実現された、素晴らしい生徒総会でした。

生徒会長をはじめ生徒会本部が中心となって企画・運営されましたが、例年の総会議事に加え、今年は「家庭学習」に焦点を当て、考えを深めました。本部を中心としたテーマ劇を始めとして、クラスでの話し合いの報告、フロアからの意見などが学年を問わず出て、いろいろな考えの交流ができていました。

この総会で承認の拍手をしたということは、主体的・協働的に取り組むということです。厳木中学校の生徒にはその力があります。これからの活動・活躍も楽しみです。